

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【長野県】

学校名【千曲市立屋代小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・ IV ・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	小学校5年生 81名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動1</p> <p>① 教科名 道徳</p> <p>② 行事名 「パラリンピックってなんだろう（参観）」</p> <p>③ その他 IPC 公認教材「mPOSSIBLE」利用</p> <p>(2) 学校における活動2</p> <p>① 教科名 総合的な学習の時間</p> <p>② 行事名 「あすチャレ！スクール2019」</p> <p>③ その他 講師 神保 康広（じんぼやすひろ）さん</p>
4 目標 (ねらい)	講師の話を聞くことを通して、自分自身の目標をしっかりと定め、諦めずに前向きに取り組むことが大切なことを理解する。
5 取組内容	<p>(1)「あすチャレ！スクール」車椅子バスケット体験 講師（神保康広さん）の出場したパラリンピックの様子を聞き、その後、体験をした。車椅子バスケットボールのルールを教えてもらい、普通のバスケットボールのルールとほぼ同じルールで行うことに、子どもたちは驚きを隠せない様子だった。 体験をしてみたの感想は「思ったところに移動できなくて、びっくりした」「シュートが届かなくて、たいへんだった」「車椅子がくるくるまわってびっくりした」などがあった。</p>

	<p>(2) 講師の話を聞いて、自分の生き方を見つめ直す 講師が、車椅子に乗ることになってしまった体験談を聞いた。事故直後に下半身の感覚がなくなり「僕の下半身はどこですか？」周りの人に聞いたエピソードを聞いた子どもたちは、みんなびっくりして声も出せなかった。</p> <p>最後に講師から「行動すること」「何事も楽しむこと」「知識・経験は人生において宝である」と話を伺いました。子どもたちの目が真剣であり、心にも響いたようであった。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>①参観日でパラリンピックについて学習した。子どもたちはオリンピックについては大分知っていたが、パラリンピックについては、関心が低かった。興味が無いというより、「知らなかった」子どもたちがほとんどであった。参観日で扱うことで、保護者にも興味を持ってもらい、家庭で話題にさせていただくように、学年便り等で呼びかけた。子どもたちは障がいがあっても前向きに取り組むことの大切さがわかってきた。</p> <p>②パラリンピックに出場した神保さんの話を聞くことで、子どもたちは、今までの自分の生き方を見つめようとしていた。夢を持つこと、夢に向かって活動することの大切さを学び、今できることをがんばろうとした。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にパラリンピックについて参観日で学習した。子どもたちの意識を高めると共に、家庭で話題にさせていただき、興味関心を持ってもらうように努めた。 ・車椅子バスケットを体験することで、子どもたちのパラリンピックに対する意識向上がはかれるようにした。 ・パラリンピアンのお話を聞くことで、講師の生き方から「チャレンジすることの大切さ」を学び取れるようにした。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2/27に「あすチャレ！スクール」を行った。しかし、次の日から臨時休校となってしまったため、後の学習が何もできなかった。もう少し、早い時期に取り組む事が必要であった。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度当初、体験と講師のお話を思い出しながら、一人一人まとめる予定。